

第208回 教育研究評議会 要録

日時 令和4年5月25日(水) 13時00分～14時29分
場所 遠隔会議：第一会議室、各研究室等
出席者 榊理事長、今岡学長、榎本理事、藤原副学長、久保副学長、西村副学長、黒子副学長、遊佐副学長、中山文学部長、山内理学部長、中山生活環境学部長、藤田工学部長、渡邊人間文化総合科学研究科長、鈴木広光評議員、吉田容子評議員、酒井評議員、柳沢評議員、鈴木則子評議員、高田評議員、柳澤評議員、吉田哲也評議員
列席者 三野監事、福田監事、大久保監事、林総務課長、望月企画課長、川村人事課長、幸田財務課長、岩田施設課長、横井情報課長/学術情報課長、濱田国際課長、米谷研究協力課長、鱸学務課長、桑原学生生活課長、早川入試課長、岩阪監査室長
議長 今岡学長

議事に先立ち、前々回(4月1日)及び前回(4月27日)の記録について、報告事項1(資料6)と併せて確認。

高田評議員から、4月1日の記録について、自身の発言は報告事項ではなく、その他の記載としていただきたいこと、また、自身の発言内容について、3月30日の事前会合と同様の発言を4月1日にも行っており、資料6の記載を4月1日の記録に再掲いただきたい旨の意見があり、学長から、発言内容を確認の上、検討する旨の発言があり、4月1日の記録について、確定を留保した。

鈴木則子評議員から、事前会合の位置づけについて質問があり、学長から、機構設立という特別な状況に対応するために予め議案を整理するものであり、正式な記録は4月1日の教育研究評議会記録であり、事前会合での発言内容は評議員からの求めに応じて、メモとして作成し会議資料として保存されるものであるとの回答があり、この回答に対して鈴木則子評議員から、事前会合メモは他の人は見ることができないのかとの質問があり、学長から会議資料として見ることが出来る旨の回答があった。

I 審議事項

1. 諸規程等の制定等について

(1) 利益相反委員会奈良女子大学部会設置要項の制定について

久保副学長から、資料1及び参考資料1、2により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、本日付けで施行し、令和4年4月1日付けで適用することとした。

(2) 奈良女子大学社会連携センター規程の一部改正について

入試課長から、資料2により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、本日付けで施行し、令和4年4月1日付けで適用することとした。

2. 第4期中期目標・中期計画における意欲的な指標の指定について

榎本理事から、資料3-1～3-4により、意欲的な指標の指定に関する趣旨、申請までの今後の段取り、検討に際して車座懇談会の実施を検討していることの説明があり、以下の通り意見等があった。

理学部長から、資料3-2に中期計画の変更案の記載があるが、現時点で中期計画の変更が可能なのかとの質問があり、榎本理事から、評価指標やその根拠を実施するにあたって、中期計画の考え方をメモしたものであり、今回の申請で中期計画の変更を行うものではない旨の回答があった。

高田評議員から、奈良カレッジズに関する他機関との定期的会合等の状況について質問があり、榎本理事から、定期的な会合の実施については把握していないが、今後、奈良カレッジズ連携推進センターにおいて進んでいくと考えている旨の回答があった。

文学部長から、本件に関する意見を集約する窓口について質問があり、榎本理事から、事務担当は企画課となるが、自身に意見を寄せていただくことも可能である旨の回答があった。

柳澤評議員から、「女性の視点に立った」や「女性ならではの」という記載がされてきたが、女性の在り方を固定化するようなことになっては本末転倒であること、教養教育と教職課程について、両大学で

異なる理念がある中、奈良女子大学のオリジナルを出していく必要があることの見解があった。

3. 第4期中期目標・計画期間における到達予測（プロセス）の作成等について（依頼）
藤原副学長から、資料4-1～4-2により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、各部署等へ依頼することとした。
4. 王寺町と奈良女子大学との連携・協力に関する協定書の締結について
久保副学長から、資料5により説明があり、審議の結果、一部文言を修正の上で承認した。
5. その他
なし

II 報告事項

1. 令和4年4月1日開催教育研究評議会について
冒頭の教育研究評議会記録の確認において報告済み。
2. 第2回役員会について
学長から、資料7により報告があった。
3. 国立大学協会近畿地区支部会議について
学長から、資料8により、5月20日に行われた会議について報告があり、国立大学法人総合損害保険の値上がり等について説明があった。
4. ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブへの申請について
久保副学長から、資料9により、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ「ダイバーシティ実現に向けた取組の支援（女性リーダー育成型）」の概要について説明があり、男女共同参画推進機構及びダイバーシティ推進センターを中心に申請を進めている旨の報告があった。
高田評議員から、女性リーダー育成型とは別の申請項目「調査分析等の実施」へも申請を検討してはどうかとの意見があった。
人間文化総合科学研究科長から、申請が採択された際には、数値目標を達成するため全学的に周知することが必要である旨の意見があった。また、高田評議員から、数値目標を達成するためのインセンティブを検討してはとの意見があった。
鈴木則子評議員から、今回の申請は女性研究者の割合が少ない特定の分野に限られたものとなるのかとの質問があり、久保副学長から、特定の分野に限らず、大学全体で申請することになる旨の回答があった。
5. 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）申請について
西村副学長から、資料10及び参考資料3により報告があった。
6. 卒業生・修了生の就職先への学習成果に関する調査結果について
企画課長から、資料11により報告があった。
7. 卒業・修了生の卒業・修了後5年目にかかる学習成果に関する調査結果について
企画課長から、資料12により報告があった。
8. 各室等からの報告について
なし

9. その他

久保副学長から、記念館一般公開の来場者数等について報告があった。

入試課長から、令和4年2月に実施した一般選抜前期日程試験における採点ミスについて報告があった。

学長から、近日中に新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、今後の対応について検討する旨の報告があった。

以 上